



2017 アジアロードレース選手権シリーズ 第3戦 6月2日(金)～4日(日)開催のご案内

株式会社モビリティランドは、鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)にて2017年6月2日(金)～4日(日)に、「2017 アジアロードレース選手権シリーズ 第3戦」を開催いたします。

本選手権はマレーシア、タイ、インドネシア、インド、そして日本を舞台に年間全6戦が行われます。選手はアジア、オセアニアの12の国と地域から70名を超える若手、ベテランが参戦し、チャンピオン争いを繰り広げます。

国内では唯一の開催地である鈴鹿サーキット。2013年以来5回目の開催となる今大会では、「スーパースポーツ600(SS600)」、「アンダーボーン150」、「アジアプロダクション250」、「スズキ・アジア・チャレンジ」の4クラスのほか、MotoGP™やワールドスーパーバイクのサポートレースとしても開催される「アジアタレントカップ」、「鈴鹿サンデーロードレース」が開催され、各クラスで熱い戦いが繰り広げられます。

なお、本イベントはゆうえんちモトピア入園料(大人1,700円 子ども800円 幼児600円)で、観戦およびパドックエリア(ピットビル3階・ホスピタリティテラスも開放)まで入場可能となり、白熱したレースをお楽しみいただけます。



2016年スーパースポーツ600(Race1)のスタートシーン

開催概要

- 大会名称 2017 アジアロードレース選手権シリーズ 第3戦
(英文表記) 2017 ASIA ROAD RACING CHAMPIONSHIP ROUND3
- 開催日程 2017年6月2日(金)プラクティス走行
6月3日(土)公式予選・決勝レース(Race1)
6月4日(日)ウォームアップ走行・決勝レース(Race2)
- 会場 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース フルコース(5.821km)
- 主催 一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)／株式会社モビリティランド

株式会社モビリティランド

東京オフィス 〒107-0062 東京都港区南青山1-15-9 第45興和ビル9F TEL(03)5770-6432 FAX(03)5770-6435 E-mail media@mobilityland.co.jp
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

レース紹介・見どころ

アジアロードレースの最高峰「スーパースポーツ600」には、全日本ロードレースで活躍する山口辰也のほか羽田太河・山田誓己ら期待の若手など多くの日本人ライダーも参戦



羽田太河選手

アジアロードレース選手権最高峰クラスである「スーパースポーツ600(SS600)」はレース専用の600ccフルカウルスポーツバイクで行われる。全日本ロードレース選手権JSB1000クラスに参戦するベテラン山口辰也や、山田誓己、18歳の羽田太河らの若手ライダーなど日本人ライダーも参戦する。

マレーシアでの開幕ラウンド、タイでの第2ラウンド計4レースを終え、アズラン・シャー・カマルザマンがランキングトップに立ち、羽田が2位につけている。

各クラスでステップアップを目指すアジア人ライダーの熱い戦いが繰り広げられる

他のクラスでも世界へのステップアップや鈴鹿8耐を目指すアジア人ライダーの熱い戦いが繰り広げられる。

「アジアプロダクション250」は、アジアのオートバイ市場での重要性が高まる250ccマシンをベースにしており、選手層が最も厚く、昨年のチャンピオンであるアピワット・ウォンタナノン選手が今シーズンはCEVジュニア世界選手権Moto3に参戦するなど、世界へつながるクラスとしても注目を集めている。

また、アジア地域で最も多く目にする100cc～125ccの4ストロークエンジンをベースにチューニングしたバイクで争われる「アンダーボーン150」や、加賀山就臣がプロデュース・監修するSUZUKIのライダー育成プログラムである「スズキ・アジアン・チャレンジ」でもステップアップを目指す若手ライダーらの戦いが繰り広げられる。



2016年アジアプロダクション250のレースシーン



タイでのアンダーボーン150のレースシーン

有望な若手ライダーがしのぎを削る「アジアタレントカップ」を鈴鹿初開催



2016年ツインリンクもてぎで開催されたアジアタレントカップ

「アジアタレントカップ」は、アジア及びオセアニア地域におけるライダーの発掘を目的に、2014年からスタートし、将来の世界選手権での活躍を目指す若手ライダーたちがしのぎを削る。今シーズンは、タイ、カタル、マレーシア、日本の4カ国6ラウンド開催となり、日本では今回初開催となる鈴鹿サーキットとMotoGP™日本グランプリの開催されるツインリンクもてぎで行われる。

また、本大会では、国内最高峰の全日本ロードレース選手権や世界へのステップアップを目指すライダーも多く参加する「鈴鹿サンデーロードレース」のJ-GP3クラスが特別戦として開催される。

株式会社 モビリティランド

東京オフィス 〒107-0062 東京都港区南青山1-15-9 第45興和ビル9F TEL(03)5770-6432 FAX(03)5770-6435 E-mail media@mobilityland.co.jp
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL http://www.suzukacircuit.jp/